

留学先大学 : Universität Graz

留学先での所属学部・研究科 : Masterstudium; Geschichte

留学先での在籍身分 : ordentlicher Studierender

留学期間 : 2016 年 9 月～ 2017 年 6 月

神戸大学での所属学部・研究科 : 人文学研究科人文学研究科博士前期課程

学年（出発時） : 2

本報告書記入日 : 2016 年 11 月 10 日

1. 出発前について

1-1. 交換留学以前に海外留学の経験はありますか。

はい いいえ

「はい」と答えた方は、留学先及び留学期間についてご記入ください。

<国名> _____ <期間> _____

1-2. 交換留学プログラムを最初にどのように知りましたか。

- | | | |
|-------------------------------------|---|---|
| <input type="checkbox"/> 留学生センターの教員 | <input type="checkbox"/> 所属部局の教員 | <input type="checkbox"/> 友人 |
| <input type="checkbox"/> 以前に参加した先輩 | <input type="checkbox"/> 所属部局の掲示板 | <input checked="" type="checkbox"/> 神戸大学のホームページ |
| <input type="checkbox"/> 留学フェア | <input type="checkbox"/> その他（具体的に）_____ | |

1-3. この交換留学プログラムに参加した動機を教えてください。最もよく当てはまる動機を「4つ」選び,

1～4まで順位を付けてください。（1：最も強い動機）

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1 学術的な目的（研究を深める等） | 3 地理的な条件が良い |
| _____ 語学力の向上 | _____ 旅行ができる |
| _____ 将来のキャリアのため（就職に役立つ等） | _____ プログラムの時期が良い |
| _____ 家族のバックグラウンドと関係がある | _____ プログラムの期間が良い |
| 2 異文化体験 | _____ 経費が安い |
| 4 個人的な理由 | _____ その他（具体的に）_____ |

1-4. VISAについて

VISAの種類 : Aufenthaltsbewilligung-Studierender (学生用在留許可)

申請先 : Amt der Steiermark Landesregierung (シュタイアーマルク州政府)

必要日数 : 約2週間

VISA取得にかかった費用 : €120

VISA申請のためにどのような書類の提出を求められましたか。どのように準備しましたか。

VISA取得は不要ですが、入国情報90日以内に在留許可を取得しなければなりません。

在留許可申請の必要書類については、オーストリア大使館ホームページ上有る「在留許可」の記載を参照、あるいは電話で問い合わせし、日本で揃えました。(ただ、英語版と日本語版はドイツ語版の記述が略記されていますので、可能であればドイツ語版で確認することをお勧めします。)

1-5 出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用

特になし。

1-6. その他に必要だった手続き、方法、料金等

- ・戸籍抄本の英文翻訳と翻訳認証(アボスティーユとは別)の手続きに計1万円ほど掛かりました。前者についてはオーストリア大使館の指定する弁護士事務所、後者はオーストリア大使館内翻訳認証係にそれぞれ依頼しました。
- ・2016年6月以降、在留許可に係る経済力証明に変更があったらしく、24歳以下は€10,593,36(奨学金+銀行残高)の経済力証明を求められました。ですので、奨学金(月8万)のみでは経済力証明としての効力は無く、家族に国際送金してもらった上で銀行残高証明(Bank Austria)も提出しました。

2. 留学先到着後の手続きについて

2-1. 到着時について

利用航空会社 : 大韓航空

利用旅行会社 (航空券の手配をした会社) : HIS

留学先大学最寄り空港名 : グラーツ 空港

空港到着時間 : 18 時頃

空港からの移動手段 : 大学手配の出迎え 知人の出迎え 公共交通機関 バス、鉄道 タクシー

その他 (具体的に) _____

移動の所要時間・料金 : _____ 分, _____

空港からの移動の際の注意点 :

今回は、ウィーン空港から入国しました。ウィーンからグラーツへ向かうには、ÖBBを使用しました。グラーツ行列車の発着駅は新しく完成した中央駅Hauptbahnhofの方なので、Wien Mitteという駅ではありません。

2-2. 留学生向けオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無 : 有り 無し

参加について : 必須 任意参加

参加費用 : 無料 有料 (金額 : _____)

内容について記入してください。

学籍登録(登録費€20)、校内施設案内、在留許可申請手続きの補佐等

2-4. その他、渡航してから必要な手続きについて

現地で滞在許可書申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。

※在留許可の概要については1-4.~1-6.参照のこと。

- ・申請窓口は、グラーツ市内の州政府庁舎内にあります。
- ・申請から受け取りまでは、約2週間でした。
- ・申請に必要な書類は州によって異なるようですが、全て揃えていくべきだと思います。

その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）有れば、方法、料金等を記入してください。

- ・住民登録Meldebestätigungの手続きは、現地の友人に手伝ってもらひながら行いました。(在留許可申請、銀行口座開設などに必要です。)
- ・GKK(Steiermärkerische Gebietskrankenkasse)という大学指定の健康保険に加入しました。申請手続きは大学側が行ってくれますが、保険料(€55,40/月)は銀行から自分で振り込みます。

3. 語学力向上のためのコースについて

3-1. 語学力の向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学（語学学校）名、コース名、料金、期間等を記入してください。

※この語学コースは、神戸大学のドイツ語研修と同じものです。

・グラーツ大学内のTreffpunkt Sprachenから語学コースの案内が事前に来たので、その語学コース(B1)に参加しました。

・費用は忘れました。

・期間は約一ヶ月です。

留学先大学 : Universität Graz

留学先での所属学部・研究科 : Masterstudium; Geschichte

留学先での在籍身分 : ordentlicher Studierender

留学期間 : 2016 年 9 月～ 2017 年 6 月

神戸大学での所属学部・研究科 : 人文学研究科人文学研究科博士前期課程

学年（出発時） : 2

本報告書記入日 : 2016 年 11 月 10 日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

- ・グラーツ大学で同分野の研究者を探すにあたっては、神戸大学の指導教官に現地学生を紹介してもらい、彼と相談しながら現地の研究者を探しました。
- ・グラーツでの生活情報については、何とかなると思っていたので、ほとんど事前に調べていませんでした。一応、街の地図は頭に入れていました。

住居について

- ・住居のタイプ : 大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に） _____

住居（寮、アパート）の名前 : WIST-heim

- ・部屋の種類 : 一人部屋 二人部屋 その他（具体的に） _____

- ・ルームメイト : 現地学生 留学生（出身国 : _____） その他（具体的に） _____

- ・どのように探しましたか。 : 大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に） _____

- ・大学までの通学時間・手段 : 約 20 分、市電

- ・住居の周りの環境はどうですか。 :

・スーパーや銀行が周囲にあり、市電の駅も近く日常生活には困りません。

・騒音などもほとんどなく、閑静な住宅街に位置しています。

・家具を揃える場所は郊外にIKEAしかありません。

- ・毎日の食事はどうしていますか。 :

ほぼ毎日自炊しています。日本の食材や食器は、市内で購入可能です。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。 :

住居は渡航前に大学側から指定されていました。入居時は名前と部屋番号を伝えるだけで、簡単に手続きが済みました。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期 : 出発前 到着後

- ・履修登録の方法 : On-line International Office 等の仲介 その他（具体的に） _____

- ・登録時に留学生として優先・配慮されることありましたか。 : 無し 有り

- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。 : はい いいえ

- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Von einer Mittelmacht zu europäischer Geltung (Der Aufstieg des Hauses Habsburg ab dem 15. Jahrhundert)	Alois Kernbauer	1	2	20	講義。期末テストあり。ドイツ語。自分の専門分野ですが、毎週授業を録音し、リスニングの練習を兼ねて内容を復習しています。
2	Wie Europas Völker einander sahen (Völkertypisierungen im 18. Jahrhundert)	Alois Kernbauer	1	2	15	ゼミ。レポート、ゼミ内報告あり。レポートの課題については教官が指定。
3	Forschung nach „Wahrheit“ (Motivation und Zielsetzung namhafter Historiker und Wissenschaftler vom 18. bis zum 20. Jahrhundert)	Alois Kernbauer	1	2	8	ゼミ。レポート、ゼミ報告あり。指導教官と相談し、両者とも修士論文について行うことになりました。
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

- ・クラスのサイズは、30人ぐらいが最大です(知る範囲で)。
- ・現地学生の授業への取り組みは、総じて真面目かつ勤勉という印象を受けます。
- ・成績評価は、出席と提出物、期末考査により判定されることがあります。

一週間のスケジュール (授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。)

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	8:15-9:45(授業)	9:00(図書館で資料調査と勉強)	9:00(図書館で資料調査と勉強)	10:00-11:30(授業)	10:00-11:30(授業)	・食料の買い出し	おやすみ
9:00							
10:00	10:00-11:30(授業)						
11:00							
12:00	12:00-15:00(図書館で資料調査と勉強)						
13:00		14:00-16:00(現地学生と語学交流)					
14:00			13:30-17:30(現地学生と語学交流)				
15:00				15:00(帰宅)	15:00(帰宅)	・市内散策	
16:00						・現地学生との語学交流	
17:00							
18:00			18:00(帰宅)				
19:00							
20:00							
21:00	22:00(就寝)	22:00(就寝)	22:00(就寝)	22:00(就寝)	22:00(就寝)		
22:00							

現在までの感想　自由に記入してください。(800字～)**【語学】**

留学して2ヶ月ほど経ちますが、ドイツ語能力はあまり向上した実感はありません。講義では毎回現地の友人と一緒に復習を手伝ってもらい、ゼミでも内容に十分ついていけない感が否めません。ただ、確実に小さくなっているのは外国語への「畏れ」です。とりあえず話してみて通じなかつたら別の表現で言い換える、などと試行錯誤しているうちに徐々に外国語への特別感がなくなってきたいるなとは思います。自分の言いたいことを伝えるにはやるしかないから、やるしかないのです。

Tandem(語学交流の時間)では、現在週2回こちらで日本語を学ぶ学生と喫茶店で会話練習や簡単な文章を書いてお互いに添削し合っています。お互い文法的な正確さはありませんが、語彙や表現方法、方言や発音を学ぶにはとてもいい機会になっています。

【授業・大学】

授業開始前に予め自分の分野に合っている教授と面会し、自身の研究テーマを伝え、ゼミ参加の可否を相談しました。上記のように講義やゼミでの議論にはまだ及びませんが、報告内容についての便宜を図っていただいたら、質問にも快く答えていただいたらしくよくしてもらっています。加えて、大学図書館には日本では入手困難な資料が数多くあり、恵まれた環境に居ると実感しています。

なお、学割が各所で適用可能ですが、26歳以下までという制限がついています。

【住環境】

先述のとおり学生寮で、4人でトイレ・風呂・台所を共有しています。洗濯は寮の地下に洗濯室があり、24時間無料で洗濯可能です。Wi-Fiがひとり100GB/月で割り振られています。同居する友人にも恵まれ、不便や不満は感じておりません。携帯は街の至る所でWi-Fiがつながるのでまだ買っていません。

またグラーツ市は人口25万人ほどと小さな街ですが、生活に必要な機能がコンパクトにまとまつており、僕のような海外生活初心者には適当な環境であると考えます。何より外国人に対して人が優しい(学生・住人問わず)のがこの街の大きな魅力だと思います。

【全体】

一年間の留学は、毎日が最初で最後です。そのことを胸に置きつつ、積極的かつ目的的に行行動しようと渡欧以来少し緊張しっぱなしのままあつという間に過ぎた2ヶ月でした。ですが、自分の目的のみに囚われていると他のことが見えなくなり、結局視野の狭いまま帰国することになるのでは?、と最近思い始めました。

ですので、これから期間はもう少し「遊び」を持って、かつ学んでいけたらと考えています。これまでも積極的に言葉を発し、耳を傾け、色んな人と交流して来ましたが、今後はなおの事そうした他者とのつながりを意識していきたいと思います。

勉強や研究に打ち込むためには、結局(時分にとって)落ち着いた良い人間関係を築いていくことが必要だなど、到着後の滞在や生活に関わる課題がひと段落してみて改めて実感しています。